3 底魚資源変動調査

3-(1) 底魚漁獲統計調査

太田 武行

目的

沖合底びき網漁業の主要漁業対象魚種の資源の持続的利用と経営安定に資するため、地区別漁獲統計データから漁獲動向等を把握した.

方法

鳥取県の沖合底びき網漁船が所属する地区(賀露,網代,田後,境港)の月別魚種別漁獲量・漁獲金額を集計し,漁獲の変動を把握した.

結果

①鳥取県全体の漁獲動向

鳥取県の沖合底びき網の漁獲量,金額,稼働隻数の年推移を図1に示した.2018年の本県沖合底びき網の漁獲量,金額は,5,885トン,47億5千万円であった.漁獲量は前年の6,454トンから569トン減少したものの,漁獲金額は前年の46億2千万円から1億3千万円増加した.稼働隻数は賀露5隻,網代10隻,田後6隻,境港3隻の合計24隻で,前年から境港で1隻増加した.

主要魚種別の漁獲量において、ハタハタが941トン(前年1,691トン)、アカガレイが972トン(前年1,331トン)、ソウハチが499トン(前年644トン)、マダラが299トン(前年417トン)と前年から軒並み減少した。

最重要魚種であるズワイガニについては、松葉がに(脱皮後1年以上の雄のズワイガニ)は331トン(前年228トン)、親がに(雌のズワイガニ)は556トン(前年482トン)で前年を上回ったが、若松葉がに(脱皮6カ月以内の雄のズワイガニ)は105トン(前年146トン)で前年を下回った。

②各地区別の漁獲動向

2018年の鳥取県の沖合底びき網の地区別魚種別漁 獲量,金額を図2に示し,各地区の摘要を以下に記載した.

○賀露(前年から漁獲量 264 トン,漁獲金額 2 千万 円減少)

漁獲量は1,379トンで,その内訳はハタハタ22%, アカガレイ15%, ソウハチ14%及びズワイガニ14% で,この4魚種が漁獲の64%を占めていた.また, 漁獲金額は9.6億円で,そのうちズワイガニが49% を占め、以下アカガレイ12%, ハタハタ11%, ソウ ハチ8%となった.

○網代(前年から漁獲量 222 トン,漁獲金額 3 千万 円減少)

漁獲量は 1,893 トンで, アカガレイ 28%, ハタハタ 23%, ズワイガニ 17%で, この 3 魚種が漁獲の68%を占めていた. また, 漁獲金額は 17.2 億円で, そのうち 49%はズワイガニで以下, アカガレイ 22%, ハタハタ 10%となっており, 他の 2 地区に比べ, 漁獲量, 金額ともにアカガレイの割合が高かった.

○田後(前年から漁獲量 527 トン,漁獲金額 1 億 3 千万円減少)

漁獲量は 1,831 トンでその内訳はズワイガニ 17%, ハタハタ 9%, アカガレイ 6%, ソウハチ 6%, 6%で, 例年だとこの 6 魚種の漁獲で 7 割を占めるが, 2018 年は 45%となった. その要因はホタルイカを主体としたイカ類の漁獲量の増加で、イカ類だけで 40%を占めた. 他の 3 地区に比べ, 多様な魚種を対象に操業していることが分かった.

また,漁獲金額は13.7億円で,そのうち55%は ズワイガニで以下,アカガレイ5%,ハタハタ4%, ソウハチ4%であった.2018年は2006年以来12 年ぶりに山口県見島沖にホタルイカの漁場が形成 され,例年になく大量に水揚げしたことにより, イカ類の漁獲金額はズワイガニに次ぐ10%を占め る結果となった.

○境港(前年から漁獲量 444 トン,漁獲金額 3 億円 増加)

2017 年 9 月から田後から 2 隻境港に移籍し、2018 年 9 月からは新たに 1 経営体が操業を開始した。その結果、漁獲量、金額ともに大幅に前年から増加した. 漁獲量は 781 トンでその内訳はズワイガニ 21%, イカ類 19%, ソウハチ 16%, アカガレイ 14%, ハタハタ 6%, マダラ 6%であった.

また,漁獲金額は 6.9 億円で,そのうち 54%は ズワイガニで以下,アカガレイ 11%,イカ類 10%, ソウハチ8%であった.田後同様に多様な魚種を対 象に操業しており,ソウハチの比率が高いところ に特徴が見られた.

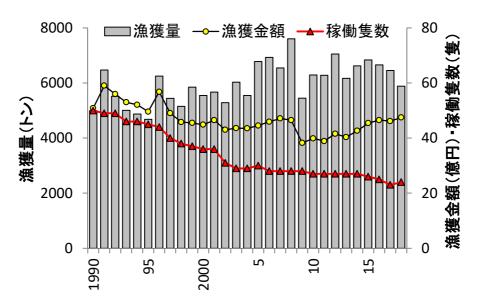


図1 鳥取県の沖合底びき網の漁獲量,金額,稼働隻数の年推移(暦年)

表1 鳥取県の沖合底びき網の主要魚種の水揚量(暦年)

(単位:トン)

									<u> (平 四 . I つ / </u>
	ハタハタ	アカガレイ	ソウハチ	マダラ	松葉がに	若松葉がに	親がに	その他	総計
2013年	1,310	1,287	677	401	328	173	559	1,435	6,171
2014年	1,286	1,693	704	530	277	142	557	1,432	6,622
2015年	1,647	1,322	589	854	243	130	560	1,488	6,835
2016年	2,014	1,231	571	574	242	123	569	1,163	6,656
2017年	1,691	1,331	644	417	228	146	482	1,370	6,454
2018年	941	972	499	299	331	105	556	2,182	5,885
平年	1,590	1,373	637	555	264	143	545	1,378	6,548
前年比%	56	73	77	72	145	72	115	159	91
平年比%	59	71	78	54	126	74	102	158	90

※平年は2013~2017年平均

※松葉がに: 脱皮後1年以上の雄のズワイガニ、若松葉がに: 脱皮6カ月以内の雄のズワイガニ、

親がに: 雌のズワイガニ

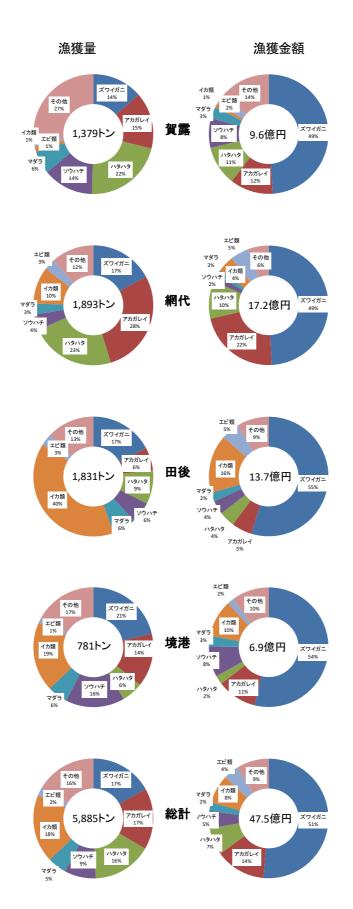


図2 鳥取県の沖合底びき網の地区別魚種別漁獲量,金額(2018年)